

北大生によるワークショップ「ヒト、トナリ」を江別で開催

【概要】

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP)「札幌可視化プロジェクト」実習では、地域の暮らしとこれからの科学技術を考えるイベントを江別 蔦屋書店で開催します。地域の日常における先端的な科学技術の在り方について、北大生と市民が双方向的に考えていきます。

【趣旨】

個人の考えや生き方が尊重される「共存」、社会の存続を優先する「共生」。私たちが豊かな生活を送るためには、どちらも大切なキーワードです。しかし、この2つのどちらかに偏りすぎることなく、うまくバランスをとっていくことが難しいのも事実です。「共存と共生のあいだ」を探すこと、異なる意見を持つ人々が一緒に暮らしていく世界を作るための第一歩として、様々な「価値観」に触れてみるのが本イベントのコンセプトです。今回は、「食」「知」「暮らし」の3つの観点から、参加者それぞれが多様な価値観について考えるとともに、それぞれの展示を作りあげます。

「食」では、食に関わる様々な関心ごとについて参加者の意見を集め、おみくじのようにランダムに引いてもらいます。他の人の関心ごとや意見を読むことで、食に対する思いや価値観を可視化します。

また、「知」では、遺伝子のらせんの形を模した本棚に、参加者が本を並べることで、知識欲が連鎖していく様子を可視化します。

そして「暮らし」では、自分の日常にロボットが入ることで、どのように変化するのかを、スタンプでロボットを作りながら考えていきます。

【日 程】 展示：2020年1月12日（日）～1月25日（土）8:00～23:00

ワークショップ：2020年1月19日（日）10:30～18:00

【場 所】 江別 蔦屋書店 食の棟、知の棟、暮らしの棟（北海道江別市牧場町14番地の1）

【主 催】 北海道大学 CoSTEP「札幌可視化プロジェクト」実習

【共 催】 江別 蔦屋書店

【申込方法】 不要

お問い合わせ先

北海道大学高等教育推進機構オープンエデュケーションセンター 科学技術コミュニケーション教育研究部門 (CoSTEP) 担当 朴炫貞 (パク・ヒョンジョン)

T E L 011-706-5320 F A X 011-706-5320 メール park@costep.hucc.hokudai.ac.jp

U R L <https://costep.open-ed.hokudai.ac.jp/costep/contents/article/2080/>

配信元

北海道大学総務企画部広報課（〒060-0808 札幌市北区北8条西5丁目）

T E L 011-706-2610 F A X 011-706-2092 メール kouhou@jimu.hokudai.ac.jp